

令和 8 年度 県立盲学校 自己評価表

No. 1

目指す学校像 ◆「学びがい」にうち 「頼りがい」があり 「生きがい」を見い出す 学校						
昨年度の成果と課題		重点項目	重点目標		達成状況	
<p>&lt;学びがいの充実 評価 B&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の学びの特性の共有と、それを生かした授業実践を行った。</li> <li>・個別最適化実現のための、指導の個別化・個性化を両立する。</li> </ul> <p>&lt;頼りがいの確保 評価 B&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター的機能の充実と発信力を強化した。</li> <li>・教育、療育、行政の連携を深化させる。</li> </ul> <p>&lt;生きがいの推進 評価 B&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種大会への参加や部活動を通して、得意や自信の涵養を行った。</li> <li>・自己指導力を高め、共に学び共に育む風土を醸成する。</li> </ul>		<p>1 「学びがい」の充実</p> <p>2 「頼りがい」の確保</p> <p>3 「生きがい」の推進</p>	<p>① 「解くから問う学び」への転換を支える授業構想力と実践力の向上</p> <p>② 教科指導の専門性向上と下支えとなる自立活動の指導の充実</p> <p>③ 情報技術の進化や時勢の変化に応じた情報リテラシーの育成</p> <p>④ 学校運営協議会との連携、協働による多様な学びの機会の創出</p> <p>① 健康的で安心・安全な学習および生活環境の整備と確保</p> <p>② 視覚障害に係る専門性を生かしたセンター的機能の発揮</p> <p>③ 家庭との連携を支えとした寄宿舎生活および食の指導の充実</p> <p>④ 視覚障害に係る多様なニーズに応える学校事務の適正化</p> <p>① 道徳的实践力や自己指導能力の向上を図る生徒支援の充実</p> <p>② 個々の得意さや自信を伸ばし自己実現を図る進路指導の充実</p> <p>③ 本人や家族のウェルビーイングを意識した P T A 活動の推進</p> <p>④ 生涯の趣味を得、仲間を見出せるスポーツ・文化的活動の推進</p>			
評価項目	具体的目標	具体的方策		重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学びがいの充実	<p>1-① 学校研究 2 年次での専門性向上</p> <p>1-② 視覚障害に係る専門性の充実</p> <p>1-③ 教材教具的な ICT 活用能力の育成</p> <p>1-④ 委員の授業・療育への積極的活用</p>	<p>&lt;学習指導部学校研究&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の協働をもとにした全校児童生徒の実態把握(ケース会)の内容を各教科等の指導へ生かす。</li> <li>・児童生徒の学びを深める「問い」について各自実践し、情報共有する。</li> </ul> <p>&lt;学習指導部教職員研修&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員が主体的に参加できる校内研修の企画・運営</li> <li>・校外の研修会・研究会の周知・連絡調整</li> </ul> <p>&lt;教務部 ICT 推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の実態に応じた ICT 機器の活用指導の実施</li> <li>・生成 AI の活用や情報モラル指導の実施</li> </ul> <p>&lt;教務部企画&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実践の下支えとなる、組織的な企画・運営の遂行</li> <li>・一人一人に合った学びの保障のための、教職員間の連携。</li> </ul>		<p>1-①</p> <p>1-②</p> <p>1-③</p> <p>1-④</p>		
頼りがいの確保	<p>2-① 怪我や疾病を防ぐ校内環境適正化</p> <p>2-②</p>	<p>&lt;保健安全部 保健・給食食育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、学級担任、寄宿舎と連携した健康管理。</li> <li>・発達段階に応じた服薬管理の見守り、練習。</li> <li>・教科や授業と関連付けた食育指導の充実。</li> </ul> <p>&lt;保健安全部 学校防災&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員個々の防災力の強化。</li> <li>・各月の安全点検を含めた校内安全、環境整備の徹底。</li> </ul>		<p>2-①</p> <p>2-②</p>		

	<p>外部支援での量・質両面での向上</p> <p>2-③ 誠意とスピードで重大事態の回避</p> <p>2-④ 業務遂行状況の積極的報告と共有</p>	<p>&lt;視覚障害教育支援センター&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援拠点の複数化による身近な場所で支援を受けられる体制の整備</li> <li>関係機関との連携強化による支援要請への早期対応と個々のニーズに沿った情報提供</li> </ul> <p>&lt;舎務部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年5回の避難訓練の反省を活かし、緊急時に安全に避難できる体制の構築を図る。</li> <li>帰省帰舎時の保護者や、学級担任との情報交換、個別面談での情報共有をもとに適切な支援を検討し、個に応じた支援の充実に努める。</li> </ul> <p>&lt;事務部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒及び教職員が快適な学校生活を送れるような環境整備に努める。</li> </ul>	<p>2-③</p> <p>2-④</p>		
<p>生きがいの 推進</p>	<p>3-① アンケートの定期継続と迅速対応</p> <p>3-② キャリア教育全体計画の完遂</p> <p>3-③ 外部組織との密な情報共有と活用</p> <p>3-④ 生徒会・部活動の他校交流の充実</p>	<p>&lt;生徒支援部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の生活アンケート、オンライン相談窓口、校内目安箱、ネット目安箱による児童生徒の悩みを早期に発見する。</li> <li>生徒支援推進委員会を行い、児童生徒の問題に早期対応をする。</li> </ul> <p>&lt;進路指導部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアパスポートを活用し、自分の強味や興味を理解し、将来の目標や進路先について具体的に考えられるようにする。</li> <li>進路だよりや保護者会、面談等を通して、一般就労や福祉就労、福祉サービス等に関する情報を提供し、適切な支援を行う。</li> </ul> <p>&lt;渉外部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メールやICTツールを活用し、PTA活動に関する情報共有を図るとともに、運営方法の工夫により、保護者が主体的に参加しやすい環境づくりに努める。</li> <li>外部機関との連携や活動について、PTAだより等を通して発信し、理解と関心の向上を図るとともに、ウェルビーイングの視点に基づく情報交換を行う。</li> </ul> <p>&lt;生徒支援部特別活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒のニーズや意見の把握とそれらを反映させた活動計画の立案と実行をする。</li> <li>ボランティアや外部団体と連携・共同した部活動運営を行う。</li> </ul>	<p>3-①</p> <p>3-②</p> <p>3-③</p> <p>3-④</p>		

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない